

オンライン

# 住宅医 スクール

## The projects of Architectural Pathologists 2023-02

住宅医の仕事紹介 2023-02

量から質へ。既存住宅に関する知識や技術が求められる時代です。

既存住宅の調査・診断から改修設計・施工・維持管理等ができる「住宅医」を育成するため、  
今年も住宅医スクール2023(第14期)を開催しています。

「住宅医の仕事紹介」は、全国で活躍している住宅医の仕事を発表し合う場です。  
2023年第2回は、京都府、静岡県、東京都の3名の住宅医による仕事をご紹介します。

12/22 (金) 17:00~19:00

住宅医の仕事紹介 2023-02

オンライン開催 (ZOOM利用)



萩尾 聰子  
(有)青木工務店  
【静岡県】

### 『昭和の住まいの改修計画 ～減築・断熱改修等、目的に合わせた改修』

築30年～40年位の昭和の住まい、築浅の時代の改修事例です。お子様が巣立った後、おひとりで住まわれる平屋へ、2階を解体し減築する御宅や、中古住宅をご購入された若い世代の方の、設備更新や断熱改善を加えた改修等、目的に応じて取捨選択しながら、既存住宅を活かし住み継ぐかたちを日々模索しています。



高橋 勝  
高橋勝建築設計事務所  
【京都府】

### 『黒門通の住宅 ～三世代家族のための 住み継ぐ京町家の改修』

下京区に建つ古い京町家。ここで生まれ育ち独立された子世帯が、次は自分たちの子育ての為、また、この京町家でご両親と一緒に三世代住まう、住み継ぐための改修です。暗く耐震的に危険な状態の町家を、三つの庭を整え、現代の住まい方にそれぞれの場所を練り直す事で、季節を感じながら安心して住み継いでいる住まいを設えました。



古川 泰司  
アトリエフルカワ  
一級建築士事務所  
【東京都】

### 『京町屋の生活改善 ～明るくて暖かくて 地震にも安心できる終のすまいを目指して』

もともと持っておられた京都の町屋を終の住みかとするために、生活改善と性能向上の改修工事を依頼されました。改修工事が重ねられてきた、築100年以上の建物になります。町屋でどうしても暗くなってしまう奥の部屋は、自然採光を取り入れ明るくし、断熱改修を施し、快適性を確保、耐震性能も評価点1を実現しました。

対象者 どなたでもご参加いただけます (※ZOOMを用いたオンライン形式でご参加頂きます)

定員 100名程度

参加費 無料

参加申込 一般社団法人住宅医協会ホームページ <申込フォーム> よりお申込みください。

申込締切 2023年12月20日(水)

主催 一般社団法人住宅医協会



[申込URL] <https://sapj.or.jp/skillup20231222/>

Society of Architectural Pathologists Japan